

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



平成30年9月26日撮影



そとがききたい

手話言語条例

差別のない社会を目指す
ため、条例の制定を

「平成32年度に制定する」

佐藤 太信 議員



議員 手話を言語として認め、普及や理解の促進が必要だ。当事者が生きやすく、差別のない社会を目指し、手話言語条例の制定を。

福祉部長 当事者や関係団体等の意見を踏まえ、協議手法の検討等を行い、平成32年度に制定する。

議員 手話言語に関する他自治体との意見交換等のため、市長は手話言語市区長会に加入を。

市長 早速加入した。手話の環境がより充実するよう努めていく。

議員 条例に、医療機関での手話普及、乳幼児支援、聴覚障害者へのコミュニケーション支援等を盛り込み、条例制定後の評価・検証ができる仕組みを。

香害・化学物質過敏症等の理解・啓発を

議員 市民・事業者への周知を。

環境経済部長 9月中

に戸田市のホームページによる周知を予定。

議員 市民を対象にした勉強会の開催を。

福祉部長 勉強会の要望があれば、出前講座に盛り込むことは可能。

議員 学校、保育施設の化学物質への対応を。

教育部長 年1回、空気検査を実施。必要に応じ、化学物質過敏症に対応した教科書を配布。

こども青少年部長 研修の場で保育従事者へ情報共有化を図る。

香料自粛のお願い

～その香りに困っている方がいます～

香水・整髪料・柔軟剤・洗剤・シャンプー・制汗剤などに含まれる



香料は、アレルギー体質や化学物質過敏症※の方など、人によっては、アレルギー症状や喘息、頭痛、めまいなどを誘発することがありますので、ご配慮くださいようお願いいたします。



※「化学物質過敏症」をご存知ですか？
ある程度量の化学物質にさらされるか、程度でも長期繰り返しさらされることで発症するといわれています。また、いったん発症になると、その後極めて微量の化学物質に対しても、頭痛、めまい、喘息や皮膚の症状など、様々な症状があらわれるといわれています。

▲香料自粛のお願いポスター
(出典：岐阜県岐阜市役所)

※化学物質過敏症……排気ガスや柔軟剤等の化学物質が体内の許容量を超えたときに発症するものが化学物質過敏症であり、頭痛や吐き気、倦怠感等が出現する。

熱中症対策

小中学校の体育館に エアコン設置を 「慎重に検討する」

金野桃子議員



議員 今年は一災害」といわれるほどの猛暑

だった。戸田市の熱中症の現状と対策は。

消防長 救急搬送は120件（8月時点。昨

年比1.7倍）。死者はいない。屋内と屋外が半々。消防車両により市内の巡回広報を実施している。

議員 市の「熱中症予防に係る対応方針」等は町会、PTA、子ども会等は対象外。適切

に対策できるよう救急救命講習等に「熱中症対策」の追加を。

消防長 「熱中症対策」を明記し、対応する。



▶体育館での体育の授業（戸田南小学校）

議員 ①小中学校の体育館にエアコン設置を②給食調理場で調理士等が熱中症を訴えている。エアコン増設を

③全校で年間を通して水筒の持ち込みの許可を④日焼け止め、ラッシュガードの許可を⑤運動会等での児童席用テントの購入を。

教育部長 ①1校5千万円前後を見込む。慎重に検討する②早急に対応する③④各学校の管理運営事項で校長判断⑤備品費で各学校が購入するもの。

議員 ①体育館は避難所になる。今後検討は②対応を感謝③④校長会議で情報提供を⑤備品費では足りず増額を。それぞれ要望する。

その他の質問

Q 市長トップセールスの推進を。

A 「エコノミックガーデン」の手法を研究する。

Q 戸田市PR大使を。

A 実施に向けて準備を進めていく。

一般質問

ふるさと祭り

市役所での再開催を

「早期に実現に至るよう取り組む」

浅生和英議員



議員 戸田ふるさと祭りの会場は、旧市役所跡（現あいパル）から、

市役所、ポートルース戸田へと会場が移った経緯がある。市民からは、歩行者天国を練り歩き、出店をはしごしたことが懐かしいなど、市役所周辺での再開催を願う声が大きいです。ぜひ市役所での再開催を。

市民生活部長 新たな検討会議を設けた実行委員会が議論し、最終的に結論を出す。引き続き実行委員会の一員として、積極的に役割を果たしていきたい。

議員 市長はふるさと祭りの大会会長である。意気込みは。

市長 会場周辺の警備体制、交通規制の問題、ごみの散乱防止などの課題があるが、関係する皆さまの協力を頂き

ながら、できる限り早期に実現に至るよう取り組んでいく。

災害時の公共交通機関との連携を

議員 ハザードマップによると、洪水などの水害では、さいたま市の高台に避難できる。バスが水没するなどの場合、復旧にかなり影響がある。避難・復旧・復興を考えると、鉄道、バス事業者と協定の締結など、対策強化を。

危機管理監 水害時に関する協定については課題があり、公共交通機関とどのような連携ができるか、今後も研究していく。なお、JRとは地震災害時に帰宅困難者対応に関する協定を締結している。



▶第44回戸田ふるさと祭り（平成30年）